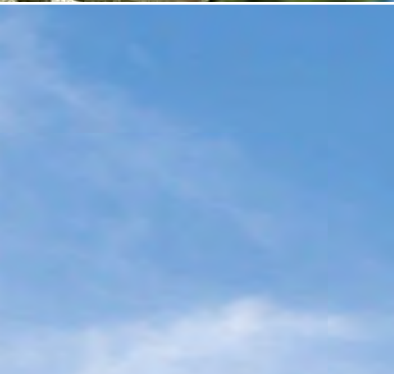
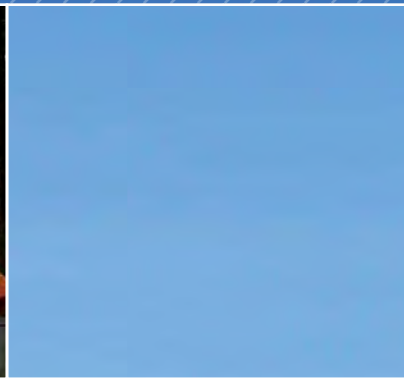




第6次 桂川町総合計画

[概要版]

令和3年度 ▶ 令和12年度



令和3年3月
桂川町

はじめに

本町は、平成 23 年3月に「第5次桂川町総合計画」を策定し、「協働で未来（夢）を拓く～笑顔あふれるまち“けいせん”～」を将来像として、本町の持つ自然と歴史、社会的特性を活かしたまちづくりを進めてきました。

この間、全国的に人口減少や少子高齢化の進展、ライフスタイルの多様化などが進み、さらには新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による社会的・経済的な影響を受け、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

そのようななか、地方分権の進展により、その担い手となる基礎自治体は、これまで以上に、「地方創生」を積極的に取り組むことが重要になっています。

このたび、策定した「第6次桂川町総合計画」は、時代の変化と将来の動向を見据えながら、総合的視点に立ち、長期的な町の展望と、その実現に向け取り組むべき施策の方向性を示しています。

本計画では、第5次桂川町総合計画に引き続き「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」を基本理念として継承し、将来像を新たに「自然と文化が息づく笑顔あふれるまち“けいせん”」としています。

本町は令和2年4月 17 日に町制施行 80 周年を迎えることができました。今後は、福岡都市圏との連携、住環境や子育て・教育環境の充実など魅力を高めるまちづくりを進めて、「ずっと、けいせんに住み続けたい」また、「けいせんに住んでみたい」と思える、活気あふれるまちになるように、各施策の推進に取り組んでまいります。

結びに、計画の策定にあたり、住民アンケートや計画に対する貴重なご意見をいただきました町民の皆様をはじめ、ご審議を賜りました審議会の皆様に心からお礼申し上げますとともに、今後なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



総合計画とは

第6次桂川町総合計画は、令和3年度から 12 年度までの 10 年間のまちづくりの総合的な指針となる、町の最上位計画です。少子高齢化の進展や人口減少、頻発する自然災害など地域を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、町民のためのまちづくりを実現するためには、町民と行政が一体となった新たな時代にふさわしいまちづくりの計画が求められています。

本計画は、町民・行政・関係団体など桂川町にかかわるすべての人が目指すまちの姿（将来像）を共有し、その実現に向けて実行するまちづくりの指針を示しています。

本計画は、基本構想、基本計画で構成されています。

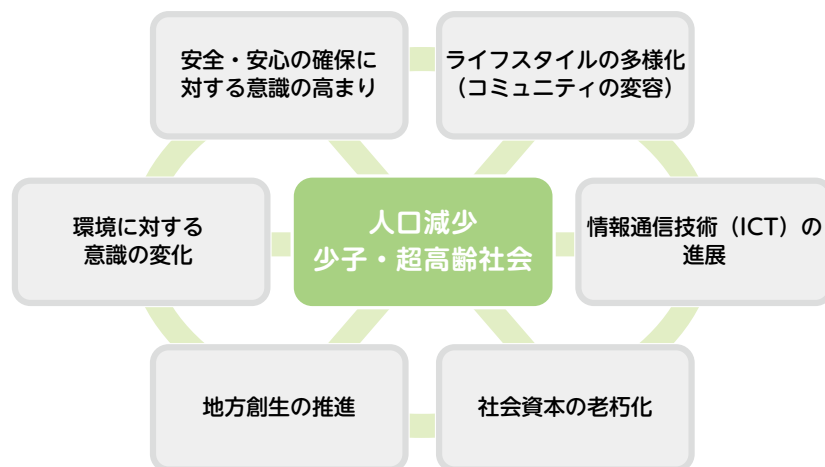


項 目	内 容
基本構想 (10 年間) 令和 3～12 年 本町が目指す将来像を明らかにし、その実現のための各分野に掲げる基本目標を示すものです。	将来像 ■ 基本理念：まちづくりの基本となる考え方 ■ 将 来 像：令和 12 年に目指すまちの姿（目標人口：令和 12 年に目指す定住人口） ■ 土地利用：土地利用の方向性
基本計画 (5 年間) 前期：令和 3～7 年 後期：令和 8～12 年 各分野における具体的な政策と施策を示すものです。	6つの基本目標（まちづくりの方向性） 将来像の実現に向けて各分野に掲げる基本目標
	重点プロジェクト 将来を見据えて特に重点的に取り組んでいく内容を、2つのプロジェクトにまとめています。これを令和 3 年から 5 年間、重点的に取り組みます。
	分野別計画 政策：基本目標を実現するための分野における方針 施策：政策を実現するための具体的な対策
分野別 各種個別計画	法令などに基づいて策定する各種の計画などは、総合計画との整合を図ります。

第6次桂川町総合計画に関わる背景

時代の潮流

今後のまちづくりを考える上で踏まえるべき、わが国を取り巻く時代の潮流について7つの枠組みで整理しています。7つの枠組みは並列的な影響関係ではなく、多くの局面において“人口減少、少子・超高齢社会”（右図中央）という人口問題（人口の規模及び構造の変化）に係る時代の潮流の変化に大きな影響を受けながら、他の6つの枠組みが変容・変化していくケースが多いと考えられます。



桂川町の主な課題

まちづくり住民アンケートでは、現在の本町の住みやすい理由として、ほぼ半数の方が自然環境の豊かさを選んでおり、ベッドタウンとしての魅力もあげられています。さらに、今後取り組むべきまちづくりとして、保健・医療・福祉の充実したまち、住環境の整備を優先するまち、子どもの教育環境が充実したまち、子育て支援が充実したまちが多く選ばれています。

今後のまちづくりは、町民が望む将来のまちに近づくため、本町の強みを活かし付加価値を高める施策と本町の弱みを克服する施策を両輪として展開していくことが求められています。実現にあたっては、住民と行政の協働のもと、JR 桂川駅を核とし、利便性と恵まれた自然環境との調和を基本に、地域の資源や個性を活かしたまちづくりを進めることで、コンパクトで住み良いまちを目指します。

現在のまちのイメージ

- 自然環境の豊かさ
- 福岡市のベッドタウン
- 王塚古墳（国の特別史跡）

将来に期待するまちのイメージ

- 町内店舗が活性化しているまち
- 保健・医療・福祉の充実したまち
- 子育て支援・子どもの教育環境が充実したまち
- 就職支援・相談が充実しているまち
- 住環境の整備を優先するまち

まちづくりの主な課題

桂川町の強みを活かしさらなる付加価値を高める施策

- 健康・医療・福祉の充実
- 学校教育の充実

桂川町の弱点を改善する施策

- 子育て環境の充実
- 教育環境（施設など）の整備
- 雇用対策
- 公共交通網の対策

住民と行政の協働（地域のコミュニティの希薄化）

行政と住民のそれぞれの主体性と自発性のもと、互いの特性を尊重し、対等な立場で共通の目的を達成するために協力

JR 桂川駅を核として、利便性と恵まれた自然環境との調和を基本に、さらに住み良いまちを目指します。

基本構想について

基本理念

桂川町のまちづくりすべてにかかわる大切にしたい考え方のことです。



「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」

基本理念とは、まちづくりすべてに関わる大切にしたい考え方のことです。

本町は、国指定特別史跡「王塚古墳」に代表されるように、歴史と伝統に育まれた文化の薫り高い町です。また、恵まれた自然環境と人情味あふれる心の豊かさを持っています。愛着と誇りある住み良い、住み続けたい郷土を築くことは私たちの使命であり、まちづくりの基本理念を『文化の薫り高い心豊かなまちづくり』としています。

将来像

どんなまちにしていきたいかを表すイメージのことです。



桂川町の目指す将来像を次のように掲げます。

**自然と文化が息づく
笑顔あふれるまち “けいせん”**
—コンパクトで住み良いまちを目指して—

自然と文化が息づく

アンケートの住みやすさの理由で、最も多かったのは「自然環境豊か」でした。また、王塚古墳は日本を代表する装飾古墳として知られ、国の特別史跡に指定されています。王塚古墳の周辺には天神山古墳、金比羅山古墳など、貴重な出土品がある古墳もあります。桂川町の誇る豊かな自然環境や貴重な文化遺産など、“桂川町らしさ”を表現しています。

笑顔あふれるまち

第5次総合計画の将来像であった「協働で未来（夢）を拓く～笑顔あふれるまち“けいせん”～」の想いを引き継ぎ、発展させていくため、これからも良好な地域コミュニティの形成を通じて、人と人が思いやりの心でつながり、笑顔で安心して暮らすことができるまちを目指すという想いを込めています。

コンパクトで住み良いまちを目指して

本町は単独運営を続行し、令和2年には町制施行 80 周年を迎えました。今後も福岡市のベッドタウンとして、小さいまちの特性を活かしたコンパクト（小さくまとまった＝小形で中身が充実している）で利便性の高い住み良いまちづくりを推進していくとともに、これらの情報を積極的に発信することにより、幅広い人やモノの交流や定住化を促進していきます。

目標人口：令和 12 年に 12,500 人

基本目標

1 健康・福祉分野／子育てがしやすく誰もが健幸なまち

本町では、公立保育所の民営化導入に向けた取組や施設老朽化に対する取組などを行うことで、地域で子育て支援ができる環境づくりを進めます。また、保健・医療・福祉が連携して健康づくりを行うとともに、医療環境の整備、母子保健施策、高齢者施策、障がい者施策などの充実を図ります。

2 教育・文化・スポーツ分野／桂川っ子が健やかに育つまち

本町では、社会的変化に応じた教育はもとより、特色ある“桂川町ならでは”の教育などを行うとともに、重点課題となっている校舎や遊具の老朽化などの教育環境の整備を図るため、個別計画による施設改修の取組などを進め、本町への子育て世代の移住・定住を促進していきます。

3 生活環境分野／移住・定住したくなる快適な住環境

環境問題への対処や本町の魅力の向上を図るため、ふくおか県央環境広域施設組合と連携した、ごみ処理計画を実現していくとともに、環境保護を地域づくりに活かしながら、自然と共生した持続可能で快適な住環境を目指します。

4 都市基盤分野／コンパクトで安全・安心なまち

コンパクトで住み良いまちづくりや移住・定住を促進します。JR 桂川駅周辺の整備に伴い、市街地が無秩序、無計画に広がっていくことを防止するための都市計画マスタープランの策定や交通結節点として利便性の強化を目指します。また、その他の公共交通、道路交通網、上水道や情報基盤などの公共インフラの持続的な整備・維持・活用とともに、災害に備えた安全・安心な暮らしの実現を進めます。

5 産業分野／地域資源を活かした産業振興と雇用の創出

地域資源を確実に未来へ継承していくための保全と多様な活用を検討します。また、中学生が本町に望む、就職支援・相談の充実などの取組を行うことで、若い世代の定住を促進します。あわせて農林業や商工業の振興、歴史や文化遺産を活かした集客交流のある観光の創出を行うなど、活力と個性がある地域産業の構築と持続可能な地域経済の発展に努めます。

6 協働・行財政分野／地域コミュニティの充実と効率的な行財政

本町では、コンパクトなまちの特徴を活かし、地域コミュニティの機能を充実していくとともに、本町が目指す将来像の実現に向け、町民と行政が情報を共有し、理解と信頼を深め、相互の連携や協力関係に基づく協働のまちづくりをより一層強力に進めるとともに、公共遊休地や情報通信技術（ICT）の活用、役場職員一人ひとりの意識改革や能力向上を図ることで、行財政改革を進めます。

基本計画について

取組といってもたくさんあって分かりづらい…
特にがんばっていくことって何だろう？



特にがんばる「重点プロジェクト」

重点プロジェクトは、「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」の基本理念のもと、将来像「自然と文化が息づく笑顔あふれるまち“けいせん”ーコンパクトで住み良いまちを目指してー」を目指し、桂川町の課題を克服するため、今後5年間で重点的に取り組む（それぞれの分野で特にがんばっていく）プロジェクトのことです。

1 「ひとづくり」プロジェクト

協働によるまちづくりの基盤である地域コミュニティの活性化を図るとともに、まちづくりの担い手となる子どもを地域全体で育みながら、高齢者福祉や雇用対策など、暮らしの様々な分野における協働によるまちづくりを進めるためのプロジェクトです。

例えば・・・

- コミュニティの維持・活性化
- 教育環境の充実
- 保健・医療・福祉の充実
- 雇用対策の推進



2 「まちづくり」プロジェクト

住み続けたいまちをつくるためには、本町ならではの「住み良さ」を実感できる魅力あるまちづくりが重要です。自然環境の豊かさや福岡市のベッドタウンといった特性を活かし、充実した子育て支援や安全・安心な生活環境の整備などにより、住み続けられるまちづくりを進めるためのプロジェクトです。

例えば・・・

- 子育て支援の充実
- 安全対策の強化
- 公共交通網整備の推進
- JR 桂川駅周辺整備の推進



さまざまな分野にかかわる、とても大切なプロジェクトです。

基本目標1 健康・福祉分野

子育てがしやすく 誰もが健幸なまち

現状と主要課題

1. 少子化社会、子育て支援ニーズの多様化
2. 家庭や地域での支え合う力の低下
3. 障がい者福祉に対する町民ニーズの高まり
4. 急激な高齢化の進行とひとり暮らし高齢者の増加
5. 様々な健康不安の増加

〈政策1〉

行政と地域が連携して子育て家庭を支援し、子どもを産み・育てやすいまちづくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・妊婦や乳幼児を連れた人に配慮することや子どもに寛容になること

〈政策2〉

誰もが住み慣れた桂川町で、安心してともに暮らすことのできる地域福祉のまちづくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・近所同士で声をかけ合い、困っている人がいれば手助けをすること

〈政策3〉

障がいの有無に関わらず互いに理解し支え合い、ともに生きることが出来るまちづくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・高齢者や障がいのある人の立場に立って考えること

〈政策4〉

高齢者が生きがいを持ち、将来にわたって自分らしい生活を送ることができるまちづくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・地域のなかに高齢者が気軽に集まれる場所や機会をつくること



〈政策5〉

生涯を通じた健康づくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・健康を意識した食事やウォーキング、自転車の利用を増やすこと

基本目標2 教育・文化・スポーツ分野

桂川っ子が 健やかに育つまち

現状と主要課題

1. 「学校・家庭・地域の一体的な教育体制の整備」に対するニーズの高まり
2. グローバル化や技術革新の急速な進展などに対応した人材の育成
3. 学校施設の老朽化
4. 生涯学習に対する参加意欲の低下
5. 「古墳を活かしたまちづくり」への機運の高まり

〈政策1〉

学校、家庭、地域が連携し、社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てます。

〈町民・地域ができること〉

- ・子どものお手本になるように大人が率先して笑顔であいさつや声かけを行い、思いやりのある行動をすること
- ・学校や地域の行事に参加し、地域で子どもを育てる取組に協力すること
- ・子どもが事故や犯罪に巻き込まれないよう、地域で子どもの登下校を見守ること
- ・学校や地域活動団体などと協力し、子どもに多様な経験をさせること

〈政策2〉

生涯にわたる学びを支援します。

〈町民・地域ができること〉

- ・趣味や生きがいを見つけて楽しく暮らすこと



〈政策3〉

歴史的価値の活用と国内外への発信、町民が芸術文化を楽しむための支援を推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・地域の歴史や文化を共有し、次の世代に伝えること



〈政策4〉

スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会の拡大を推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・家族や友人と一緒に文化活動やスポーツ活動を行うこと

〈政策5〉

人権が尊重される地域社会づくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・一人ひとりが、人を差別しない・させないこと
- ・日頃から、平和、男女共同参画、人権の大切さについて語り合い意識を高めるとともに、講演会などに参加し、正しい知識を得ること
- ・日頃から、文化や暮らしの違いについて理解を深めること

基本目標3 生活環境分野

移住・定住したくなる 快適な住環境

〈政策1〉

豊かな自然環境を守り、次の世代へつないでいきます。

〈町民・地域ができること〉

- ・自然にふれあい、自然を楽しむこと
- ・地域の清掃活動に参加したり、植栽の手入れをしたりすること
- ・節電・節水などの環境に配慮した行動を実践するほか、低炭素型の製品を選択すること

〈政策3〉

安全で安心な水を供給します。

〈町民・地域ができること〉

- ・上水道の必要性や役割を理解し、整備に協力すること
- ・日頃から排水が詰まらないよう周辺の側溝や排水管などの清掃を行うこと
- ・有害なものなどを排水溝などに流さないようにすること

現状と主要課題

1. 安全な公園の確保と児童公園の整備
2. 資源循環型社会の推進
3. 「安全で安心な水」の安定供給に向けた取組
4. 安全で快適な住環境の確保

〈政策2〉

廃棄物処理環境の整ったまちづくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・ごみの減量のために不要なものは買わず、再利用すること
- ・ごみの分別やごみ出しマナーを守ること
- ・ごみのポイ捨てを行わないほか、ペットの散歩時のふんの処理などのマナーを守ること

〈政策4〉

安心で快適な住環境の整備を推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・空き家を活用できるアイデアを出すこと



基本目標4 都市基盤分野

コンパクトで 安全・安心なまち

現状と主要課題

1. 道路環境の安全性・快適性の確保
2. 「JR 桂川駅周辺再開発にともなうまちづくり」への期待の高まり
3. 集中豪雨などによる風水害の多発

〈政策1〉

安全で快適な道路環境を整備します。

〈町民・地域ができること〉

- ・道路の清掃活動に参加すること
- ・道路に異常があったら通報すること
- ・交通ルールとマナーを守り、思いやりのある自動車や自転車の運転を心がけること



〈政策2〉

桂川駅を中心としたコンパクトなまちづくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・積極的に公共交通機関を利用すること



〈政策3〉

災害から町民の生命を守り、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・災害時に備えて避難袋や備蓄品を準備したり、避難場所や経路の確認を行ったりすること
- ・災害時に協力できるよう普段から近所の人とあいさつを交わし、地域の活動に参加すること
- ・民生児童委員などと協力して災害時の要援護者を把握・共有し、避難誘導を支援すること
- ・学校や行政区などで犯罪や事故が多発している場所などの情報を共有し、パトロールや見守りを行うこと

基本目標5 産業分野

地域資源を活かした産業振興と雇用の創出

現状と主要課題

1. 農業従事者の減少・高齢化
2. 若者の就労相談・支援に対するニーズの高まり
3. 地域資源の活用への期待

〈政策1〉

担い手の育成・支援により、農林業の充実を図ります。

〈町民・地域ができること〉

- ・桂川町産の食材を学んだり、食べたりすること



〈政策2〉

多様な人材が活躍する、活力のある商工業の振興を図ります。

〈町民・地域ができること〉

- ・町内の事業者・企業について、興味を持って調べてみる
- ・新たなビジネスや産業を生み出すために学んだり、仲間をつくったりすること
- ・就労についてわからないことや悩みがあったら、誰かに相談すること
- ・ワーク・ライフ・バランスや多様な働き方を理解すること

〈政策3〉

地域資源を活用した観光と交流を推進し、交流人口・関係人口の創出を図ります。

〈町民・地域ができること〉

- ・町の有名なものやおもしろいと感じたものを SNS など発信すること
- ・王塚古墳に関連した商品のアイデアを出すこと



基本目標6 協働・行財政分野

地域コミュニティの充実と効率的な行財政

現状と主要課題

1. 町民と行政の協働の重要性の高まり
2. 新しい制度・技術を活用した健全な行政運営
3. 効果的な広域連携の必要性
4. 地域コミュニティの希薄化

〈政策1〉

町民と行政の協働のまちづくりを推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・暮らしのなかで役立つ町の情報があったら、誰かに話してみること
- ・広報けいせんを読んでみる
- ・町のHPを見てパブリックコメント（町民意見公募）で意見を出す

〈政策2〉

効果的・効率的な行政運営を推進します。

〈町民・地域ができること〉

- ・積極的にマイナンバーカードをつくること
- ・町役場の取組やサービスについて関心を持つこと
- ・町役場と連携すること
- ・便利なサービスを積極的に活用すること
- ・行政事務のICT化を理解すること



〈政策3〉

地域力を再生・強化します。

〈町民・地域ができること〉

- ・地域のコミュニティ活動や体験活動に参加してみる
- ・「王塚古墳」コミュニケーションロゴマーク・タイプを活用してみる



基本構想

基本
理念

文化の薫り高い心豊かなまちづくり

将来像

自然と文化が息づく笑顔あふれるまち “けいせん”
——コンパクトで住み良いまちを目指して——

6つの基本目標

健康・
福祉

1 子育てがしやすく
誰もが健幸なまち

教育・
文化・
スポーツ

2 桂川っ子が
健やかに育つまち

生活
環境

3 移住・定住したくなる
快適な住環境

都市
基盤

4 コンパクトで
安全・安心なまち

産業

5 地域資源を活かした
産業振興と雇用の創出

協働・
行財政

6 地域コミュニティの充実と
効率的な行財政

基本計画

6 の分野	23 の政策	60 の施策	重点プロジェクト
1 健康・福祉	1 行政と地域が連携して子育て家庭を支援し、子どもを産み・育てやすいまちづくりを推進します。	①結婚・妊娠・出産支援 ②母子保健事業等の推進 ③保育環境の充実 ④相談体制の充実と子育てコミュニティの支援	らびへんぷろじへんと まちづくりプロジェクト
	2 誰もが住み慣れた桂川町で、安心してともに暮らすことのできる地域福祉のまちづくりを推進します。	①地域福祉活動を担う人材の確保・育成 ②一人ひとりに必要な支援を提供できる地域の実現	
	3 障がいの有無に関わらず互いに理解し支え合い、ともに生きることができるまちづくりを推進します。	①充実した社会生活のための支援の推進 ②障がいを理解し、支え合う環境づくり ③生涯を通じて、安心して生活できる支援体制の充実	
	4 高齢者が生きがいをもち、将来にわたって自分らしい生活を送ることができるまちづくりを推進します。	①多様な生きがいづくりと社会参加の促進 ②地域で支え合う体制づくり ③介護体制づくり	
	5 生涯を通じた健康づくりを推進します。	①ライフステージ別に合わせた健康づくりの推進 ②感染症予防対策 ③健やかに暮らせる地域医療体制の維持	
2 教育・文化・スポーツ	1 学校、家庭、地域が連携し、社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てます。	①確かな学力を育む教育の推進 ②学校・家庭・地域の一体的な教育体制の整備 ③たくましく生き抜く力を育成する教育の推進	
	2 生涯にわたる学びを支援します。	①町民ニーズにあわせた学習内容の充実 ②図書館サービスの充実	
	3 歴史的価値の活用と国内外への発信、町民が芸術文化を楽しむための支援を推進します。	①歴史遺産の保護と活用 ②王塚装飾古墳を活かした歴史文化の発信 ③芸術文化活動への参加促進	
	4 スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会の拡大を推進します。	①ライフステージに応じたスポーツの推進と交流活動の充実 ②スポーツ・レクリエーションを推進するための環境整備	
	5 人権が尊重される地域社会づくりを推進します。	①人権教育・啓発の推進 ②男女共同参画の推進	
3 生活環境	1 豊かな自然環境を守り、次の世代へつないでいきます。	①自然環境保全活動の充実 ②公園・緑地の整備 ③環境負荷低減対策の推進	
	2 廃棄物処理環境の整ったまちづくりを推進します。	①ごみの減量化・資源化の推進 ②安定的なごみ処理体制の確保 ③適正な污水处理環境の整備	
	3 安全で安心な水を供給します。	①安全で安心な水の安定供給 ②安心な住まいづくり ③快適な住環境の整備	
	4 安心で快適な住環境の整備を推進します。	③空き家の利活用	
4 都市基盤	1 安全で快適な道路環境を整備します。	①通学路等の危険箇所対策 ②道路舗装の整備（更新） ③幹線道路の整備	
	2 桂川駅を中心としたコンパクトなまちづくりを推進します。	①桂川駅を中心とした市街地整備 ②民間と連携した町有地（遊休地）の有効活用 ③公共交通環境の維持と利便性の向上	
	3 災害から町民の生命を守り、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進します。	①災害から命を守る支援の充実 ②町民生活を守る防犯対策の充実 ③多発する自然災害から守るための防災情報の拡充	
5 産業	1 担い手の育成・支援により、農林業の充実を図ります。	①担い手の育成・確保 ②桂川町ブランドの創出	
	2 多様な人材が活躍する、活力のある商工業の振興を図ります。	①商工業の活性化支援 ②新たな雇用の場の創出 ③若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出	
	3 地域資源を活用した観光と交流を推進し、交流人口・関係人口の創出を図ります。	①王塚古墳を中心とした古代文化遺産による町の魅力づくりの推進 ②広域的な観光推進体制の確立 ③ふるさと納税を通じた町の魅力発信等	
6 協働・行財政	1 町民と行政の協働のまちづくりを推進します。	①まちづくり情報の共有化 ②町民の協働と参画の推進	
	2 効果的・効率的な行政運営を推進します。	①行財政の効果的・効率的運営 ②広域行政の推進	
	3 地域力を再生・強化します。	①町民活動の支援 ②シビックプライドの醸成	

SDGs（持続可能な開発目標）と総合計画の関係について

SDGs（エス・ディ・ジーズ）とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、国連加盟 193 か国が平成 28（2016）年～令和 12（2030）年の 15 年間で達成するための目標として、平成 27（2015）年 9 月の国連サミットで採択されたものです。SDGs には、一人ひとりがそれぞれの立場で、世界をよりよくするためにできることを考え、取り組むことができるよう 17 のゴール（目標）と 169 のターゲットが示されており、その実現に向けた取組が広がっています。

SDGs は、誰もが安心して暮らせる地域の実現を目指すもので、長期総合計画で掲げる将来像を実現するための“持続可能なまちづくり”の目標としても捉えることができます。

そのため、本町では、本計画の分野別の基本目標と SDGs の 17 の目標との関係を「見える化」し、各施策の推進を図ることにより、SDGs の達成につなげていきます。

■ 基本目標 1 子育てがしやすく誰もが健幸なまち 	■ 基本目標 4 コンパクトで安全・安心なまち 
■ 基本目標 2 桂川っ子が健やかに育つまち 	■ 基本目標 5 地域資源を活かした産業振興と雇用の創出 
■ 基本目標 3 移住・定住したくなる快適な住環境 	■ 基本目標 6 地域コミュニティの充実と効率的な行財政 

発行：令和 3 年 3 月 桂川町

〒820-0696 福岡県嘉穂郡桂川町大字土居 424 番地 1

TEL：0948-65-1100

第 6 次桂川町総合計画 前期基本計画
について [詳しくはこちら](#)

